Rotary

高田ロータリークラブ会報

2021～2022年度

Rotary Club of TAKADA Report

国際ロータリー第2560地区 ガバナーテーマ

ロータリーを学び、ロータリーを広げよう

高田ロータリークラブ 今年のスローガン

利他の心をもって、超我の奉仕を

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度
国際ロータリー会長 シェカール・メータ
2560地区ガバナー 高尾 茂典
高田ロータリー会長 中田 正
幹事 箕輪 賢一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：
星 則雄・西條英夫・猪股耐真男・鈴木陽一

第 32 回例会 4 月 1 日(金)

No.29

会長挨拶 ●中田 正

今日は４月１日、学校、会社、役所において新年度が始まりました。

昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大、軍事超大国の戦争、東北の震災など不幸な出来事を数多く経験しました。その一方で、夏の東京オリンピック、冬の北京オリンピックとアジアで 2 つのオリンピックが同一年度に開催される良い機会を得ることができました。激動し激変した１年でしたが、そこから多くのことを体験し、多くの事を学びました。ダーウィンの進化論では「環境の変化に合わせ、変わるものだけが生き残る」と言われます。新年度を迎えるにあたり、この環境の変化に対応し、前に進んで行こうと決意を新たにしたところです。皆様もその方向で前に進んで頂きたいと思います。

ロータリークラブの活動も７月からの新年度に向けての準備が、これから本格的に始まります。本年度の事業と並行しての活動で、皆様にもご負担をおかけしますが、ご協力お願いいたします。

後ほど髙橋会長エレクトより先週土曜日に行われた PETS（会長エレクト研修セミナー）での次年度に向けての報告があります。ご清聴お願いいたします。

最後になりますが、新たな年度になってもウクライナでは戦争が継続され、避難民が増え続けています。前回のオークションに続き、本日もウクライナ避難民への人道支援の募金箱を回します。是非ご協力ください。なお、４月より為替レートが円安となるため、昨日 2,000 ドルをロータリー災害救済基金へ送金しました。皆様のご協力に感謝いたします。

本日の卓話は株式会社丸互の常務取締役半田和之様より「スマートテレワークタウンローカル５Ｇ ラボ上越妙高」についてお話しいただきます。

出 席 報 告

94.0%

メイクアップ

大谷光夫君･本山秀樹君･髙橋正彦君･飯塚宏佳君
（3/26 2022-23 年度ＰＥＴＳ）

委 員 会 報 告

出席ニコニコ BOX 委員会：

橋詰敏一君　先日のオークション目標達成ご協力に感謝申し上げます。

小柳勝司君　先週のオークションは残念ながら参加できませんでした。社会奉仕貢献としてニコニコします。

髙坂光一君　本日から春の火災予防運動が始まりました。皆様の安全をお祈りします。

髙橋会長エレクト：PETS 参加報告

米山奨学委員会　：寄付のお願い

社会奉仕委員会　：オークションの御礼

親睦委員会　４月のお誕生日各お祝い

会員インフォメーション

髙坂光一君：4/10 観桜会ブルーインパルス飛来のお知らせ

幹 事 報 告

配布物：週報№27.28、ロータリーの友４月号、不審メール注意喚起

回覧物：米山梅吉記念館館報、財団ニュース４月号

報告　：ウクライナ災害救援基金について
（4/1 寄付額 13,000 円　総額 45,000 円）

ゴルフ同好会

３月 30 日、　百年料亭宇喜世にて「打合せ会」が開催されました。

卓話

スマートテレワークタウンローカル５Ｇラボ上越妙高
～最先端ローカル５Ｇネットワークのある街づくり～

株式会社丸互　常務取締役　**半田和之様**

１９５３年１１月に丸互製材所としてスタートし、おかげさまで本年１１月にて創業７０周年を迎えます。地元に育てて頂き７０年、地域への恩返しまた地域活性化への熱い想いから今回のスマートテレワークタウンローカル５Ｇラボ@上越妙高のプロジェクトをお受けしました。丸互は木材や金属加工のイメージが強いですが現在は樹脂精密加工や情報システムが主力となっております。そのような事もプロジェクトをお受けする背景となりました。

本プロジェクトでは上越も他の地方都市の例に漏れず人口減少・高齢化が大きな課題です。新幹線・高速道路・山・海に恵まれた環境で仕事をするにも余暇を楽しむにも絶好のロケーションであります上越妙高駅周辺（エンジョイプラザ２Ｆ）に様々なチャレンジを可能としたスタートアップ・サテライト・コワーキング施設を構築し、若者にとって魅力的なチャレンジの場・大都市圏のベンチャー企業を集積する場を創出し交流人口拡大そして地域活性化を目的としました。サテライト・コワーキング施設は現状全国どこにもありますが最先端通信技術であるローカル５Ｇを屋内外で活用できるオープンラボ機能を有する施設は全国でも珍しく他の地域との差異化となります。丸互が事業主体となりＮＴＴ東日本・様々な専門的知見技術を有する地元や県内企業・上越市・新潟大学・第四北越銀行等がコンソーシアムを形成しこれも珍しい産学官金連携でのプロジェクトとなりました。施設の名称は「JM-DAWN」で「上越妙高の夜明け」を意味します。

ローカル５Ｇの電波を屋内外で活用して様々な実証実験やビジネス開発が可能となります。またスタジオエリアでは高精細遠隔会議システムにて ４K映像の高精細なオンライン会議も活用できます。スマート農業や製造業のロボティクス、住宅用除雪機の遠隔操作、高精細な画像による交流イベント等未来ある若者が様々なチャレンジのできる場を提供し、そこに集い・共創し・起業創業・ビジネス開発の場となり、交流人口の拡大・産業及び地域活性化に繋がり地域の課題解決に貢献できればという想いをもって取り組んでおります。

２０２１年度は構築・準備の年度でしたが、いよいよ今年度が本格的なスタートとなります。ぜひ皆様やお取引先にもご活用いただければと思います。